

一宮市浄化槽指導要領

(趣旨)

第1条 この要領は、浄化槽法（昭和58年法律第43号）、環境省関係浄化槽法施行規則（昭和59年厚生省令第17号。以下「省令」という。）、一宮市浄化槽法施行細則（令和2年一宮市規則第64号。以下「細則」という。）、一宮市浄化槽保守点検業者の登録に関する条例（令和2年一宮市条例第64号。以下「条例」という。）及び一宮市浄化槽保守点検業者の登録に関する条例施行規則（令和2年一宮市規則第63号。以下「規則」という。）に定めるもののほか、浄化槽の設置及び維持管理等に関し、必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この要領において使用する用語は、浄化槽法、省令、細則、条例及び規則で使用する用語の例による。

(設置届出書等の添付書類)

第3条 浄化槽を設置し、又はその構造若しくは規模の変更をしようとする者（次項に規定する者を除く。）は、浄化槽工事の技術上の基準及び浄化槽の設置等の届出に関する省令（昭和60年厚生省・建設省令第1号）第3条第1項又は第4条第1項の規定による届出書に、浄化槽法第7条に規定する設置後等の水質検査を指定検査機関に依頼したことを証する書面を添付するものとする。

2 建築基準法（昭和25年法律第201号）第7条第1項及び第7条の2第1項により完了申請を行う者で浄化槽を設置した場合は、浄化槽工事完了報告書に、浄化槽法第7条に規定する設置後等の水質検査を指定検査機関に依頼したことを証する書面を添付するものとする。

3 浄化槽の使用を廃止した時は、省令第9条の5の規定による届出書に、当該浄化槽の使用の廃止にあたって実施した清掃（汚泥、スカム、中間水等の引き出しは全量とすること。すぐに撤去しない場合は、洗浄に使用した水は再利用せず、水道水等を使用して張り水を行うこと。）の記録の写しを添付するものとする。

(書類等の様式)

第4条 次の書類等については、当該各号に定める様式によるものとする。

- (1) 細則第3条に規定する浄化槽使用開始報告書 様式第1号
- (2) 細則第4条に規定する浄化槽技術管理者変更報告書 様式第2号
- (3) 細則第5条に規定する浄化槽管理者変更報告書 様式第3号

(保守点検作業基準)

第5条 浄化槽の保守点検は省令第2条の規定によるほか、環境省構造基準型については、別表第1に掲げる維持管理ガイドライン、国土交通大臣から型式認定を

受けたものについては、各型式の維持管理要領書、及び保守点検チェック項目（別表第2）に基づき実施し、保守点検記録表を作成する。

- 2 保守点検業務を契約したときは、保守点検業者名及び契約年月（複数年契約をする場合は、契約期間）を記載した浄化槽保守点検契約済証をブローワー等に貼付する。

（保守点検の再委託）

第6条 浄化槽保守点検業者が規則第10条の規定により再委託を行う場合は、次に掲げる事項を記載した書面を作成し、必要に応じてその内容が随時確認できるよう努めなければならない。

- (1) 浄化槽の設置場所、人槽、処理方式
- (2) 委託をする浄化槽保守点検業者及び委託を受ける浄化槽保守点検業者の氏名又は名称及び住所
- (3) 再委託の期間
- (4) 再委託をすることを承諾する旨及び承諾の年月日
- (5) 浄化槽管理者の氏名又は名称及び住所並びに法人にあっては、その代表者の氏名

（清掃作業基準）

第7条 浄化槽の清掃は省令第3条の規定によるほか、環境省構造基準型については、別表第1に掲げる維持管理ガイドライン、国土交通大臣から型式認定を受けたものについては、各型式の維持管理要領書に基づき実施するものとする。

- 2 清掃業務を実施したときは、清掃年月及び清掃業者名を記載した浄化槽清掃済証をブローワー等に貼付する。

（専門的知識、技術の向上）

第8条 浄化槽清掃業者は、省令第11条第4項を満たす者が有する専門的知識、技能を用いて従業員の資質の向上を図り、許可業務が適正に遂行されるよう努めなければならない。

（浄化槽保守点検業務等の報告）

第9条 浄化槽保守点検業者は、保守点検実績状況について前月分をとりまとめ、毎月末日までに市長に浄化槽保守点検記録調査票を提出しなければならない。

- 2 浄化槽清掃業者は、清掃実施状況について前月分をとりまとめ、毎月末日までに市長に浄化槽清掃記録を提出しなければならない。

（水質試験の実施）

第10条 浄化槽管理者は浄化槽からの放流水について、別表第3に掲げる回数及び項目により試験を行うものとする。

(浄化槽管理士に対する研修)

第11条 条例第10条の規定により、浄化槽保守点検業者は、その営業所に置く浄化槽管理士に対し、以下の研修を条例第2条第3項の登録の有効期間ごとに1回以上受講させるものとする。

- ・ 県内で開催する一般社団法人全国浄化槽団体連合会が提供する研修システムを用いた研修
- ・ 以下の県内の浄化槽関係団体等が主催するもので上記研修と同等と市が認めたもの

愛知県浄化槽保全協会

愛知県衛生事業協同組合

一般社団法人愛知県浄化槽協会

愛知県合併処理浄化槽普及促進協議会

愛知県内の保健所設置市

2 県外で開催された一般社団法人全国浄化槽団体連合会が提供する研修システムを用いた研修を受講している場合、別途、県が開催する「地域の実情に係る講習」を受講すれば、第1項の研修を受講したものとみなす。

(実施細則)

第12条 この要領の施行に関し必要な事項は、別に定める。

附則

(施行期日)

この要領は、令和3年4月1日から施行する。

附則

この要領は、令和5年4月1日から施行する。

別表第 1

維持管理及び清掃に係る維持管理ガイドライン

名 称	文書番号
小型合併処理浄化槽維持管理ガイドライン	平成 5 年 3 月厚生省浄化槽対策 室長通知衛浄第 16 号
高度処理型合併処理浄化槽維持管理ガイド ライン	平成 8 年 3 月厚生省浄化槽対策 室長通知衛浄第 22 号
単独処理浄化槽維持管理ガイドライン	平成 12 年 9 月厚生省浄化槽対 策室長通知衛浄第 43 号
窒素除去型小型合併処理浄化槽維持管理ガイド ライン	平成 12 年 9 月厚生省浄化槽対 策室長通知衛浄第 43 号
中・大型合併処理浄化槽維持管理ガイドライン	平成 12 年 9 月厚生省浄化槽対 策室長通知衛浄第 43 号
膜分離型小型合併処理浄化槽維持管理ガイドラ イン	平成 12 年 9 月厚生省浄化槽対 策室長通知衛浄第 43 号

別表第2

保守点検チェック項目(小型)

通番	項目No	大項目	項目	記載内容	単独処理浄化槽		合併処理浄化槽	
					腐敗式	ばっ気式	構造基準型	大臣認定
	0	施設の概要						
	10-1		施設名称	該当内容	△	△	△	△
	20-2		建築物用途	該当内容	△	△	△	△
	30-3		浄化槽管理者(設置者)	該当内容	◎	◎	◎	◎
	40-4		浄化槽管理者(設置者)ふりがな	該当内容	◎	◎	◎	◎
	50-5		浄化槽管理者(設置者)住所	該当内容	◎	◎	◎	◎
	60-6		浄化槽管理者(設置者)電話番号	該当内容	◎	◎	◎	◎
	70-7		浄化槽のメーカー名	該当内容	◎	◎	◎	◎
	80-8		型 式	該当内容	◎	◎	◎	◎
	90-9		処理方式	該当内容	◎	◎	◎	◎
	100-10		処理対象人員	該当内容	◎	◎	◎	◎
	110-11		保守点検業者	該当内容	◎	◎	◎	◎
	120-12		(保守点検登録番号)	該当内容	○	○	○	○
	130-13		会社住所	該当内容	○	○	○	○
	140-14		浄化槽管理士名	該当内容	◎	◎	◎	◎
	150-15		(管理士番号)	該当内容	△	△	△	△
	160-16		会社電話番号	該当内容	◎	◎	◎	◎
	170-17		前回の保守点検日時	該当内容	◎	◎	◎	◎
	180-18		保守点検実施日	該当内容	◎	◎	◎	◎
	190-19		前回の清掃日	該当内容	○	○	○	○
	200-20		清掃業者名	該当内容	△	△	△	△
	1	使用の状況						
	211-1		実使用人員	該当内容	△	△	△	△
	221-2		人員比(BOD負荷)	計算結果			△	△
	231-3		日平均汚水量(水道メーター等から)	記録から計算			△	△
	241-4		流入状況(異物・油脂類の混入)	適否or確認状況	○	○	○	○
	2	躯体・スラブ・マンホール						
	252-1		マンホール等の破損状況	適否or確認状況	○	○	○	○
	262-2		スラブの変形・破損等	適否or確認状況	○	○	○	○
	272-3		躯体の変形・破損	適否or確認状況	○	○	○	○
	282-4		荷重(槽上部)の状況	適否or確認状況	○	○	○	○
	292-5		躯体の浮上・沈下の状況	適否or確認状況	○	○	○	○
	302-6		漏水の状況	適否or確認状況	○	○	○	○
	312-7		躯体の水平の狂い	適否or確認状況	○	○	○	○
	322-8		マンホールからの雨水あるいは土砂の混入	適否or確認状況	○	○	○	○
	3	管渠						
	333-1		管渠の誤接合	適否or確認状況	○	○	○	○
	343-2		管渠の破損	適否or確認状況	○	○	○	○
	353-3		管渠から雨水・地下水あるいは土砂の流入	適否or確認状況	○	○	○	○
	363-4		流入管渠の勾配の状況	適否or確認状況	○	○	○	○
	373-5		放流管渠の勾配の状況	適否or確認状況	○	○	○	○
	383-6		放流管からの逆流	適否or確認状況	○	○	○	○
	393-7		管渠におけるスライム等の付着状況	適否or確認状況	○	○	○	○
	4	ブロウ・制御機器						
	404-1		ブロウの作動状況	適否or確認状況		◎	◎	◎
	414-2		制御、安全機器の作動状況	適否or確認状況		○	○	○
	424-3		沈殿槽汚泥引き抜きポンプの設定 作動時間	適否or確認状況		○	○	○
	5	空気配管(埋設管)						
	435-1		空気配管の閉塞	適否or確認状況		○	○	○
	445-2		空気配管の破損	適否or確認状況		○	○	○
	6	循環装置						
	456-1		循環装置の作動・調整方法	適否or確認状況				○
	7	流量調整装置						
	467-1		流量調整装置の作動・調整状況	適否or確認状況				○
	8	各単位装置						
	478-1		衛生害虫の発生状況	適否or確認状況	◎	◎	◎	◎
	488-2		臭気の発生状況	適否or確認状況	◎	◎	◎	◎
	498-3		槽内水のオーバーフロー	適否or確認状況	◎	◎	◎	◎
	508-4		水位上昇の痕跡	適否or確認状況	○	○	○	○
	518-5		短絡水流の形成	適否or確認状況	○	○	○	○
	528-6		内部設備の変形あるいは破損	適否or確認状況	○	○	○	○
	538-7		隔壁の漏水	適否or確認状況	○	○	○	○

保守点検チェック項目(小型)

通番	項目No	大項目	項目	記載内容	単独処理浄化槽		合併処理浄化槽	
					腐敗式	ばっ気式	構造基準型	大臣認定
	9	一次処理装置共通						
	9-1	一次処理装置共通 第1室						
54	9-1-1		スカムの蓄積状況(厚み)	cm及び適否	◎	◎	◎	◎
55	9-1-2		汚泥の蓄積状況(厚み)	cm及び適否	◎	◎	◎	◎
56	9-1-3		移流口等の状況	適否or確認状況	○	○	○	○
	9-2	一次処理装置共通 第2室以降						
57	9-2-1		スカムの蓄積状況(厚み)	cm及び適否		◎	◎	◎
58	9-2-2		汚泥の蓄積状況(厚み)	cm及び適否		◎	◎	◎
59	9-2-3		移流口等の状況	適否or確認状況		○	○	○
	10	好気性生物反応槽共通						
60	10-1		ばっ気攪拌の状況	適否or確認状況		○	○	○
61	10-2		空気配管等(閉塞・破損)	適否or確認状況		○	○	○
62	10-3		微小後生動物の増殖状況	適否or確認状況		○	○	○
63	10-4		泡の発生状況	適否or確認状況		○	○	○
	11	好気性生物反応槽個別						
	11-1	接触ばっ気槽						
64	11-1-1		接触材・移流部の状況	適否or確認状況		○	○	○
65	11-1-2		剥離汚泥の状況	適否or確認状況		○	○	○
66	11-1-3		生物膜の状況	適否or確認状況		○	○	○
67	11-1-4		逆洗の実施(逆洗無し・逆洗のみ・汚泥移送の別)	適否or確認状況		◎	◎	◎
68	11-1-5		逆洗装置の作動状況	適否or確認状況		○	○	○
	11-2	担体流動槽						
69	11-2-1		担体の状況(磨耗等)	適否or確認状況				○
70	11-2-2		担体の流動状況	適否or確認状況				○
71	11-2-3		担体の充填状況	適否or確認状況				○
	11-3	生物ろ過槽						
72	11-3-1		担体の状況(磨耗等)	適否or確認状況				○
73	11-3-2		ろ過装置流入部の水位	cm及び適否				○
74	11-3-3		逆洗装置の設定	適否or確認状況				◎
75	11-3-4		逆洗装置の作動状況	適否or確認状況				○
76	11-3-5		作動時刻	時間及び適否				○
77	11-3-6		担体の充填状況	適否or確認状況				○
	11-4	腐敗タンク二次処理						
78	11-4-1		散水ろ床の均等散水の状況	適否or確認状況	○			
79	11-4-2		平面酸化床の均等流水の状況	適否or確認状況	○			
80	11-4-3		単純ばっ気室の浮遊物質の状況	適否or確認状況	○			
81	11-4-4		注水の状況	適否or確認状況	○			
82	11-4-5		異物等の付着状況	適否or確認状況	○			
	12	沈殿槽/処理水槽						
	12-1	沈殿槽						
83	12-1-1		越流せきの水平・固定状況	適否or確認状況	○	○	○	○
84	12-1-2		スカムの生成状況(厚み)	cm及び適否	◎	◎	◎	◎
85	12-1-3		汚泥の堆積状況(厚み)	cm及び適否	◎	◎	◎	◎
	12-2	処理水槽						
86	12-2-1		スカムの生成状況(厚み)	cm及び適否				◎
87	12-2-2		汚泥の堆積状況(厚み)	cm及び適否				◎
	13	消毒槽						
88	13-1		スカム・汚泥の蓄積状況	適否or確認状況	○	○	○	○
89	13-2		消毒剤の状況(膨潤・閉塞等)	適否or確認状況	○	○	○	○
90	13-3		消毒剤の接触・調整状況	適否or確認状況	○	○	○	○
91	13-4		消毒剤の消費状況(残留量)	適否or確認状況	○	○	○	○
92	13-5		消毒剤の補充量	適否及び個数	◎	◎	◎	◎
	14	水質						
	14-1	共通						
93	14-1-1		好気性生物反応槽内DO	数値及び適否		◎	◎	◎
94	14-1-2		2次処理流出水 NO2-N	数値及び適否	○	○	○	○
95	14-1-3		処理水のpH	数値及び適否	◎	◎	◎	◎
96	14-1-4		槽内水温	数値	◎	◎	◎	◎
97	14-1-5		一次処理流出水透視度	cm及び適否	△	△	○	○
98	14-1-6		二次処理流出水の外観	適否or確認状況	○	○	○	○
99	14-1-7		二次処理流出水透視度	cm及び適否	◎	◎	◎	◎
100	14-1-8		臭気	有(種類)無	◎	◎	◎	◎
101	14-1-9		放流水残留塩素濃度	数値及び適否	◎	◎	◎	◎
	14-2	単独処理浄化槽						
102	14-2-1		汚泥沈殿率 SV30	%及び適否		○		
103	14-2-2		処理水の塩化物イオン濃度	数値及び適否	○	○		

保守点検チェック項目(小型)

通番	項目No	大項目	項目	記載内容	単独処理浄化槽		合併処理浄化槽	
					腐敗式	ばっ気式	構造基準型	大臣認定
	14-3	窒素除去型水質						
104	14-3-1		処理水のNO _x -N濃度	数値及び適否			△	△
105	14-3-2		処理水のNH ₄ -N濃度	数値及び適否			△	△
	15	流入(中継)ポンプ槽・放流ポンプ槽						
106	15-1		自動制御装置の作動状況	適否or確認状況	○	○	○	○
107	15-2		NO.1ポンプの作動状況	適否or確認状況	○	○	○	○
108	15-3		NO.2ポンプの作動状況	適否or確認状況	○	○	○	○
109	15-4		配管及び配線(漏電等)の状況	適否or確認状況	○	○	○	○
110	15-5		スカムあるいは汚泥の蓄積状況	適否or確認状況	○	○	○	○
	16	その他						
111	16-1		清掃の必要性 清掃の予定(予定月、引き抜き量)	適否 清掃予定	○	○	○	○
112	16-2		清掃業者への連絡事項	適宜	○	○	○	○
113	16-3		法定検査 法定検査の予定(予定月)	法定検査予定	○	○	○	○
114	16-4		消耗品、部品の交換	適宜	○	○	○	○
115	16-5		消耗品及び交換部品の履歴	適宜	○	○	○	○
116	16-6		所見(改善の必要性の有無)	適宜	○	○	○	○

◎ 必須項目(点検票に項目の記載が必要)

○ 点検項目(特記事項のみ記述でも可)

△ 該当があれば点検する項目(省略可の項目)

保守点検チェック項目(中・大型)

通番	項目No	大項目	項目	記載内容	単独	合併
					ばっ気式	
	0	施設の概要				
1	0-1		施設名称	該当内容	△	△
2	0-2		建築物用途	該当内容	△	△
3	0-3		浄化槽管理者(設置者)	該当内容	◎	◎
4	0-4		浄化槽管理者(設置者)ふりがな	該当内容	◎	◎
5	0-5		浄化槽管理者(設置者)住所	該当内容	◎	◎
6	0-6		浄化槽管理者(設置者)電話番号	該当内容	◎	◎
7	0-7		浄化槽のメーカー名	該当内容	◎	◎
8	0-8		型 式	該当内容	◎	◎
9	0-9		処理方式	該当内容	◎	◎
10	0-10		処理対象人員	該当内容	◎	◎
11	0-11		保守点検業者	該当内容	◎	◎
12	0-12		(保守点検登録番号)	該当内容	△	△
13	0-13		会社住所	該当内容	○	○
14	0-14		浄化槽管理士名	該当内容	◎	◎
15	0-15		(管理士番号)	該当内容	△	△
16	0-16		会社電話番号	該当内容	◎	◎
17	0-17		前回の保守点検日時	該当内容	◎	◎
18	0-18		保守点検実施日	該当内容	◎	◎
19	0-19		前回の清掃日	該当内容	△	△
20	0-20		清掃業者名	該当内容	△	△
	1	使用の状況				
21	1-1		積算流量計値	該当内容	△	△
22	1-2		日平均汚水量	計算結果	△	△
23	1-3		流入状況	記録から計算	△	△
	2	躯体・スラブ・マンホール				
24	2-1		マンホール等の破損状況	適否or確認状況	○	○
25	2-2		スラブの変形・破損等	適否or確認状況	○	○
26	2-3		躯体の変形・破損	適否or確認状況	○	○
27	2-4		荷重(槽上部)の状況	適否or確認状況	○	○
28	2-5		躯体の浮上・沈下の状況	適否or確認状況	○	○
29	2-6		漏水の状況	適否or確認状況	○	○
30	2-7		躯体の水平の狂い	適否or確認状況	○	○
31	2-8		マンホールからの雨水あるいは土砂の混入	適否or確認状況	○	○
	3	管渠 (流入管渠・インバート升・移流管・放流管渠)				
32	3-1		管渠の誤接合	適否or確認状況	○	○
33	3-2		管渠の破損	適否or確認状況	○	○
34	3-3		管渠から雨水・地下水あるいは土砂の流入	適否or確認状況	○	○
35	3-4		流入管渠の勾配の状況	適否or確認状況	○	○
36	3-5		放流管渠の勾配の状況	適否or確認状況	○	○
37	3-6		放流管からの逆流	適否or確認状況	○	○
38	3-7		管渠におけるスライム等の付着状況	適否or確認状況	○	○
	4	スクリーン				
39	4-1		荒目スクリーン	適否or確認状況	△	△
40	4-2		細目スクリーン	適否or確認状況	△	△
41	4-3		微細目スクリーン	適否or確認状況	△	△
42	4-4		ばっ気型スクリーン	適否or確認状況	△	△
43	4-5		砂溜り(沈砂槽)	適否or確認状況	△	△
	5	沈殿分離槽				
44	5-1		スカム厚	cm及び適否	○	○
45	5-2		堆積汚泥厚	cm及び適否	○	○
46	5-3		流出水 臭気	適否or確認状況	○	○
47	5-4		流出水 透視度	cm及び適否	○	○
	6	流量調整槽				
48	6-1		流量調整装置:ポンプ・電磁弁の作動状況等	適否or確認状況		○
49	6-2		ばっ気運転状況	適否or確認状況		○
50	6-3		フロートスイッチの状況	適否or確認状況		○

保守点検チェック項目(中・大型)

通番	項目No	大項目	項目	記載内容	単独	合併
					ばっ気式	
	7	散水ろ床				
51	7-1		散水の均等性	適否or確認状況	△	△
52	7-2		ろ床の臭気	適否or確認状況	△	△
53	7-3		ポンプの作動	適否or確認状況	△	△
54	7-4		分水機能	適否or確認状況	△	△
55	7-5		三角せきの水位	適否or確認状況	△	△
	8	二階タンク				
56	8-1		消化室 スカム厚	cm及び適否	△	△
57	8-2		消化室 堆積汚泥厚	cm及び適否	△	△
58	8-3		流出水 臭気	適否or確認状況	△	△
59	8-4		流出水 透視度	cm及び適否	△	△
	9	ばっ気タンク・ばっ気槽・流路				
60	9-1		ばっ気装置の機能(散気装置・機械攪拌装置)	適否or確認状況	○	○
61	9-2		堆積汚泥厚(流路のみ)	cm及び適否		○
62	9-3		混合液 溶存酸素量	数値及び適否	◎	◎
63	9-4		混合液のSV30	cm及び適否	◎	△
64	9-5		混合液のMLSS	mg/L及び適否		○
65	9-6		混合液のSVI	数値及び適否		△
	10	接触ばっ気槽・担体流動槽・生物ろ過槽				
66	10-1		ばっ気装置の機能(散気装置・機械攪拌装置)	適否or確認状況	○	○
67	10-2		堆積汚泥厚	適否or確認状況	○	○
68	10-3		付着汚泥(生物膜)	適否or確認状況	○	○
69	10-4		槽内水 溶存酸素量	数値及び適否	◎	◎
70	10-5		槽内水 透視度	cm及び適否	◎	◎
71	10-6		逆洗装置	適否or確認状況	○	○
72	10-7		汚泥移送装置	適否or確認状況	○	○
73	10-8		担体の状況(磨耗等)	適否or確認状況		○
74	10-9		ろ過装置流入部の水位	適否or確認状況		○
75	10-10		担体の充填状況	適否or確認状況		○
	11	回転板接触槽				
76	11-1		回転数	数値及び適否		△
77	11-2		周速	m/分		△
78	11-3		付着汚泥(生物膜)	適否or確認状況		△
79	11-4		付着汚泥の厚さ	cm及び適否		△
80	11-5		接触槽のSV30	%及び適否		△
81	11-6		接触槽の堆積汚泥	cm及び適否		△
82	11-7		臭気	有(種類)無		△
	12	沈殿槽(沈殿池)				
83	12-1		越流ぜき 異物等の付着	適否or確認状況	○	○
84	12-2		越流ぜきの水平	適否or確認状況	○	○
85	12-3		スカム厚	cm及び適否	◎	◎
86	12-4		堆積汚泥厚	cm及び適否	◎	◎
87	12-5		返送・移送装置:ポンプ・電磁弁の作動状況等	適否or確認状況	○	○
88	12-6		汚泥返送(移送)量	返送量	○	○
89	12-7		装置の作動状況	適否or確認状況	○	○
90	12-8		作動時刻	時間及び適否		○
	13	消毒槽(タンク)				
91	13-1		消毒剤の補給	適否及び個数	◎	◎
92	13-2		消毒剤の接水	適否or確認状況	○	○
93	13-3		沈殿物・流出汚泥	有無or確認状況	○	○
	14	ブロウ・制御機器				
94	14-1		ブロウ作動状況・フィルター洗浄等	適否or確認状況	○	○
95	14-2		埋設空気配管の破損・閉塞の状況	適否or確認状況	○	○
96	14-3		制御・安全機器作動状況	適否or確認状況	○	○
97	14-4		ブロウ電流値(No1/No2)A	数値及び適否	○	○
98	14-5		ブロウ抵抗値(No1/No2)MΩ	数値及び適否	○	○
	15	ポンプ設備(流入・放流)				
99	15-1		ポンプの作動	数値及び適否	◎	◎
100	15-2		フロートスイッチの作動	適否or確認状況	△	○
101	15-3		沈殿物	有(種類)無	◎	◎
102	15-4		No1 ポンプの作動状況(原水・中継・放流)	数値及び適否	△	△
103	15-5		No2 ポンプの作動状況(原水・中継・放流)	数値及び適否	△	△
104	15-6		ポンプの電流値(No1/No2)A	数値(A)	△	△
105	15-7		ポンプの抵抗値(No1/No2)MΩ	数値(MΩ)	△	△
106	15-8		配管・配線(漏電等)の状況	数値及び適否	◎	◎

保守点検チェック項目(中・大型)

通番	項目No	大項目	項目	記載内容	単独	合併
					ばっ気式	
	16	汚泥濃縮貯留槽(タンク)				
107	16-1		攪拌装置の状況・汚泥の濃縮状況	適否or確認状況		○
108	16-2		引抜ポンプの作動状況	適否or確認状況		○
109	16-3		汚泥の貯留状況	適否or確認状況		○
110	16-4		流出水(脱離液)の透視度と臭気	数値及び有無		○
	17	汚泥濃縮槽(タンク)				
111	17-1		汚泥移送装置の作動状況	適否or確認状況		○
112	17-2		流出水(脱離液)の透視度と臭気	数値及び有無		○
	18	汚泥貯留槽(タンク)				
113	18-1		攪拌装置の状況	適否or確認状況		○
114	18-2		汚泥搬出の必要性	適否or確認状況		○
	19	水質				
115	19-1		一次処理流出水透視度	cm及び適否	○	○
116	19-2		二次処理流出水の外観	適否or確認状況	○	○
117	19-3		二次処理流出水透視度	cm及び適否	◎	◎
118	19-4		槽内水温	数値	◎	◎
119	19-5		pH	数値及び適否	◎	◎
120	19-6		臭気	有(種類)無	◎	◎
121	19-7		放流水残留塩素濃度	数値及び適否	◎	◎
122	19-8		亜硝酸	数値及び適否	△	△
123	19-9		処理水の塩化物イオン濃度	数値及び適否	○	
	20	その他の槽・装置				
124	20-1		ろ過装置の通水状態	適否or確認状況		△
125	20-2		ろ過装置の洗浄実施	適否or確認状況		△
126	20-3		活性炭の交換時期	適否or確認状況		△
127	20-4		調整槽の浮遊異物	有無		△
128	20-5		調整槽の攪拌状況	適否or確認状況		△
129	20-6		脱窒槽の浮遊物質	適否or確認状況		△
130	20-7		硝化槽の攪拌状況	適否or確認状況		△
131	20-8		硝化槽の発泡	適否or確認状況		△
132	20-9		凝集槽の攪拌状況	適否or確認状況		△
133	20-10		凝集槽のフロックの状況	適否or確認状況		△
134	20-11		凝集沈殿槽のスカム	有無		△
135	20-12		凝集沈殿槽の沈殿分離状況	適否or確認状況		△
136	20-13		凝集沈殿槽の汚泥の引き抜き	適否or確認状況		△
137	20-14		硝化用接触槽の攪拌状況	適否or確認状況		△
138	20-15		脱窒用接触槽の攪拌状況	適否or確認状況		△
139	20-16		再ばっ気槽の生物膜の生成状況	適否or確認状況		△
	21	その他のポンプ設備				
140	21-1		pH調整剤注入ポンプの電流値(No1/No2)A	数値(A)		△
141	21-2		pH調整剤注入ポンプの抵抗値(No1/No2)MΩ	数値(MΩ)		△
142	21-3		凝集剤注入ポンプ	適否or確認状況		△
143	21-4		凝集沈殿槽電磁弁	適否or確認状況		△
144	21-5		非常用ポンプ	適否or確認状況		△
145	21-6		中間調整ポンプ	適否or確認状況		△
146	21-7		集泥機	適否or確認状況		△
147	21-8		消泡ポンプ	適否or確認状況		△
	22	膜処理装置				
148	22-1		膜処理濾過負圧(MPa)	数値(MPa)		△
149	22-2		膜処理透過水量調整	適否or確認状況		△
	23	薬注				
150	23-1		PAC薬注ポンプ運転条件調整	適否or確認状況		△
151	23-2		PAC補充	適否or確認状況		△
152	23-3		PAC薬注量調整	適否or確認状況		△
153	23-4		メタノール薬注ポンプ運転条件調整	適否or確認状況		△
154	23-5		メタノール補充	適否or確認状況		△
155	23-6		メタノール薬注量調整	適否or確認状況		△
	24	その他				
156	24-1		清掃の必要性 清掃の予定(予定月、引き抜き量)	適否or確認状況	△	△
157	24-2		清掃業者への連絡事項	適宜	○	○
158	24-3		法定検査 法定検査の予定(予定月)	法定検査予定	○	○
159	24-4		消耗品、部品の交換	適宜	○	○
160	24-5		消耗品及び交換部品の履歴	適宜	○	○
161	24-6		所見(改善の必要性の有無)	適宜	○	○

◎必須項目(点検票に項目の記載が必要)
 ○点検項目のうち特記事項のみ記述でも可
 △該当があれば点検する項目(省略可の項目)

別表第3

放流水の水質試験区分

第1 生物化学的酸素要求量

浄化槽の処理対象人員が51人以上のものにあつては年1回以上、50人以下のものにあつては5年に1回以上

第2 次の表に掲げる項目

浄化槽の維持管理上必要と認められるとき

項目	水温、色相、臭気、透視度、水素イオン濃度、化学的酸素要求量、浮遊物質、アンモニア性窒素、亜硝酸性窒素、硝酸性窒素、塩素イオン濃度、残留塩素
----	---